

弘法新聞

2020. 7. 6 NO 99

発行者 篠栗四国第八十五番霊場 加藤丈尚
郷ノ原観音 祖聖大寺

〒811-2405 福岡県糟屋郡篠栗町大字篠栗84 TEL 092-947-6368
FAX 092-947-6717

ホームページ<http://sosyoudaiji.com/>

メールアドレスkanzeon17@yahoo.co.jp

暑中お見舞い申し上げます

今年も折り返し地点を過ぎ、暑い夏のはじまりです。
昨年の台風19号による被災地の方々、また令和二年七月豪雨被災地の方々
に心よりお見舞い申し上げますとともに早期復興祈願と犠牲者、併せてコロ
ナ犠牲者のご冥福をお祈り申し上げます。

又、平素より当山の為に色々ご尽力頂き有難うございます。
皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。 合掌



— 仏声梵語 —

— コロナ禍や 一難去って 第二波か —

もう今年も半年が過ぎ、月日の経つ早さを痛切に感じています。
時の流れは正直に季節の訪れを知らせ、私達の心に潤いを与えてくれます。

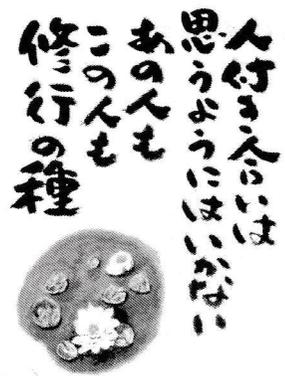
私達の心の潤いと反比例するかのように昨年12月、中国武漢で発生した新型コロナ肺炎
は世界中の政治、経済、文化を初め人々の生活にまで甚大な影響を与えています。

近年の日本は毎年、梅雨から夏場に向け地震、台風、大雨といった自然災害に悩まされ、
今年は、加えて新型コロナ蔓延で思いもしなかった事態に国民が啞然となってる状態です。
何でまたこのような状態が来たのかと途方に暮れる人々も多くおられます。

“人心乱れる時は鬼神暴れる”と1200年前、弘法大師様が仰っておられます。鬼神と
は魔の事で、私達の心の中に巣くう三毒(貪り、怒り、愚かしさ)の事です。私達の自分中
心の考え方、不平不満の心の中に油断も隙もなく入ってくるものです。魔は私達が悲しみ、
怒り、泣くのを大変喜びます。だから世の中がおかしくなる事は当然です。

仏道では「十善戒」が説かれます。前にもお話ししましたが私達
は、日常生活で「身」と「口」と「心」で眼では見えない色んな罪
を作っております。その事に気づかず同じ過ちを何度も繰り返して
います。その行いを反省し、自己を高めてゆく努力がとても大切に
なってきます。自己を反省すれば自分がどれだけ人に迷惑をかけて
生きているのかが分かり、懺悔の心が芽生えます。自分のような欠
点の多い人間でもこうして三度の食事がとれ、身体は至って健康と
思えば、“ありがとうございます”、“申し訳ございません”、“勿体
ない”といった心が育ちます。

私達の心は、懺悔、反省の心から最後は感謝の心へと変わらなけ
ればなりません。信仰とは、懺悔、反省から始まり、最後は報恩感
謝の心に至る事です。この考え方でコロナをかわしましょう。



— 南無大師遍照金剛 — 合掌